



野外で活動する際は 虫刺されにご用心!

令和5年5月8日

富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和5年第17週分・4月24日～4月30日)
(令和5年第18週分は5月11日(木)発行予定です)

《インフォメーション》

●ダニが媒介する感染症

※1 テトラサイクリン系等
※2 2023/3/18時点での暫定値
※3 富山県 5/8時点、全国 4/26時点

疾患名	病原体	潜伏期間	主症状	治療法	県内(全国)の患者報告数		
					2021年	2022年 ^{※2}	2023年 ^{※3}
ツツガムシ病	ツツガムシ病リケッチア <i>Orientia tsutsugamushi</i>	5～14日	発熱・発疹・ダニの刺し口 (主要三徴候)	抗菌薬投与 ^{※1}	2 (544)	3 (493)	0 (25)
日本紅斑熱	リケッチア・ジャポニカ <i>Rickettsia japonica</i>	2～8日	発熱・発疹・ダニの刺し口 (主要三徴候)	抗菌薬投与 ^{※1}	0 (490)	0 (460)	0 (61)
SFTS	SFTSウイルス	6～14日	発熱・消化器症状 血小板減少・白血球減少	対症療法	0 (110)	1 (118)	0 (29)
ライム病	ライム病ボレリア <i>Borrelia bavariensis</i> など	3～32日	遊走性紅斑・発熱 神経症状・関節炎	抗菌薬投与 ^{※1}	0 (23)	0 (14)	0 (0)

ダニは春から秋にかけて活動が活発になります。この時期、人々も農作業やレジャー等の野外活動を行うことが多くなるため、ダニに咬まれる危険性が高まります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた人が感染症を発症することがあります。

国内で発生する可能性があるダニが媒介する感染症には、ツツガムシ病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ライム病などがあります。これらのダニ媒介感染症では、重症になると死に至ることもあります。県内ではツツガムシ病、SFTSが報告されています(表参照)。日本紅斑熱、SFTSの患者は西日本を中心に発生していますが、近年では患者発生の地域が東日本へ広がっています。2022年には富山県内で初めてSFTSの症例が報告されました。

ダニは県内に広く分布していると考えられます。野外で活動する際は、ダニに咬まれないための対策が必要です。以下のことに注意しましょう。

- ① 草むらなどに入るときには、肌が露出しないように、長袖、長ズボン、手袋、長靴等を着用しましょう。
- ② 服の上や肌の露出部分に、虫よけ剤のスプレーを噴霧しましょう。
- ③ 地面や草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。
- ④ 野外で活動した後は、すぐに入浴し、体や頭をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- ⑤ 吸着しているダニを無理に引き抜こうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、医療機関で取ってもらいましょう。
- ⑥ 発熱等の症状が認められた場合は、早めに医療機関を受診し、野山等で活動したことを伝えましょう。

《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 1,084件 (4/25(火)～5/1(月)公表分)
 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第16週診断分: 80歳代、男性、G群)
 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (70歳代、男性)
 侵襲性肺炎球菌感染症 2件 (①10歳未満、男性 ②10歳未満、女性)
 梅毒 2件 (①第16週診断分: 30歳代、男性、早期顕症梅毒I期
 ②第16週診断分: 40歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	12.14 (↑)	9.41
2位	RSウイルス感染症	2.00 (↓)	2.62
3位	インフルエンザ	1.81 (↓)	2.65
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34 (↓)	1.41
5位	咽頭結膜熱	1.00 (↓)	1.07
6位	水痘	0.21 (↑)	0.03

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第17週 令和5年4月24日～令和5年4月30日）

分類	疾患	今週報告分（第17週）							累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市		計	新川	中部	高岡	砺波	富山市		計
二類感染症	結核								1	3	10	3	20		37
四類感染症	オウム病										1				1
	レジオネラ症										8	1	4		13
五類感染症	アメーバ赤痢												1		1
	ウイルス性肝炎										1				1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4		4		8
	急性脳炎											1			1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										4	1	3		8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1		1					3		3
	侵襲性肺炎球菌感染症					2		2		2	2		7		11
	水痘（入院例）									1			3		4
	梅毒										1	1	6		8
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	21	23	3	13	27		87	761	1,356	3,282	1,100	4,632		11,131
		3.00	4.60	0.23	1.86	1.69		1.81							
	RSウイルス感染症	1	2	13	7	35		58	19	42	154	135	150		500
		0.25	0.67	1.63	1.75	3.50		2.00							
	咽頭結膜熱	2	2	14	1	10		29	33	22	60	33	51		199
		0.50	0.67	1.75	0.25	1.00		1.00							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	18		20		39	14	4	233	1	179		431
			0.33	2.25		2.00		1.34							
	感染性胃腸炎	21	18	57	30	226		352	379	485	905	517	2,670		4,956
		5.25	6.00	7.13	7.50	22.60		12.14							
	水痘			2		4		6	1	9	14	1	22		47
				0.25		0.40		0.21							
	手足口病										6		6		12
	伝染性紅斑												3		3
突発性発しん			2		2		4	9	14	33	9	25		90	
			0.25		0.20		0.14								
ヘルパンギーナ			2				2	16		5		1		22	
			0.25				0.07								
流行性耳下腺炎			1				1			6	1	2		9	
			0.13				0.03								
流行性角結膜炎								1		7				8	
インフルエンザによる入院患者（※1）								3	3	13	17	31		67	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

分類	疾患	4月25日（火）～5月1日（月）公表分							累積報告数（令和4年9月27日～）医療機関の所在地ベース						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 ※2	118	86	318	128	359	75 ※3	1,084	13,342	6,898	28,718	13,838	38,672	10,854 ※3	112,322
		※2 県報道発表資料の公表日に基づく集計 ※3 陽性者登録センター分							累積報告数（令和2年3月30日～令和4年9月26日）感染者居住地ベース						
		※4 県外、居住地非公表分							11,484	10,019	37,643	13,404	54,143	506 ※4	127,199

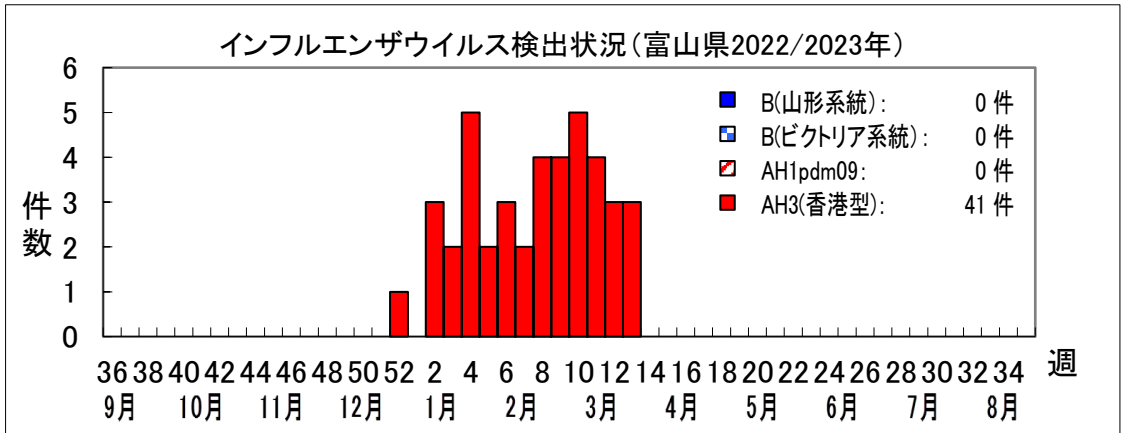
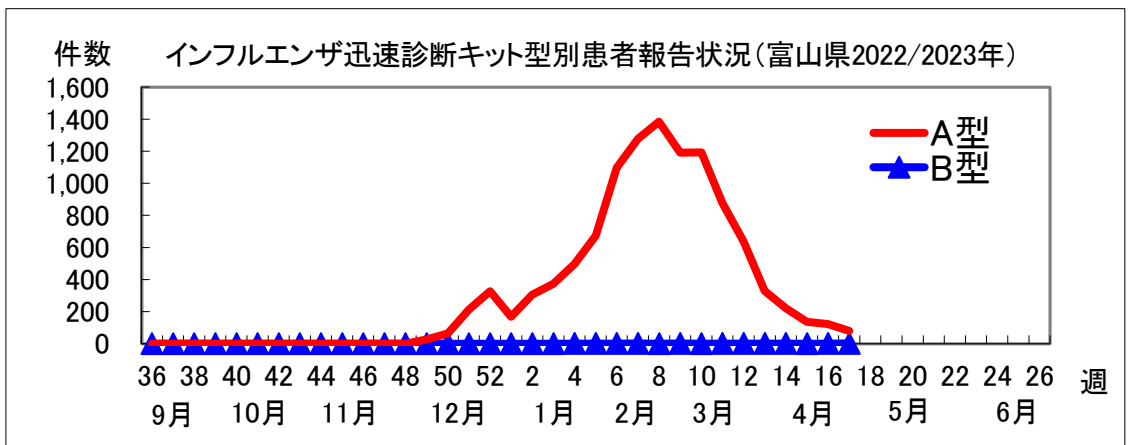
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が93.1%となっています。

第17週(4/24~4/30)：富山県 1.81人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	19	0	2	21
中部	3 / 5	23	0	0	23
高岡	3 / 13	3	0	0	3
砺波	5 / 7	12	1	0	13
富山市	7 / 16	24	1	2	27
富山県	22 / 48 ^{※1}	81	2	4	87
富山県累計(2022年36週~)		11,201	14	559	11,774

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が22か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



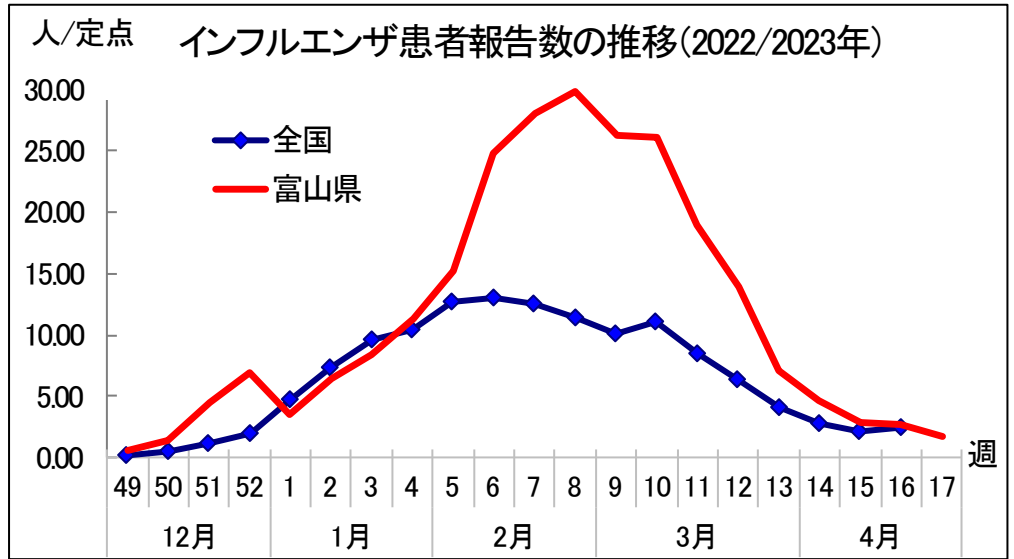


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第17週 (4/24~4/30) : 富山県 1.81 人/定点

新川 HC (3.00)、中部 HC (4.60)、高岡 HC (0.23)、砺波 HC (1.86)、富山市 HC (1.69)

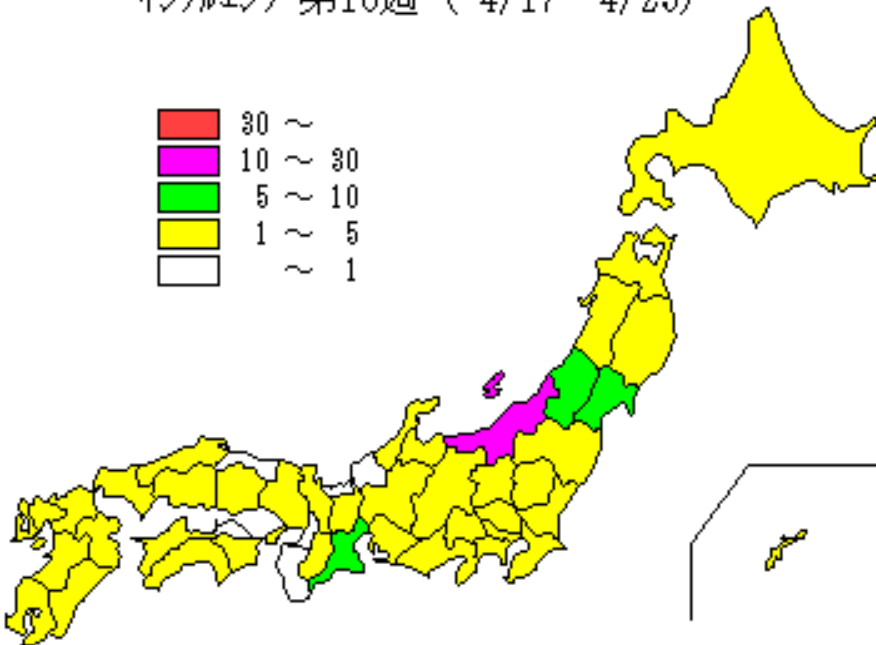
県内の患者報告数は減少傾向です。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第16週 (4/17~4/23)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 2.51 人となり、前週の 2.16 人より増加しました。30 道府県で前週より増加しています。一方、17 都県で前週より減少しています。

インフルエンザ第16週 (4/17- 4/23)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	2.94	滋賀県	2.77
青森県	4.25	京都府	1.09
岩手県	2.18	大阪府	0.81
宮城県	6.55	兵庫県	1.19
秋田県	3.56	奈良県	1.16
山形県	8.35	和歌山県	0.53
福島県	2.24	鳥取県	0.90
茨城県	1.18	島根県	1.61
栃木県	1.18	岡山県	2.95
群馬県	2.79	広島県	4.20
埼玉県	2.09	山口県	2.54
千葉県	2.09	徳島県	1.05
東京都	1.83	香川県	0.91
神奈川県	1.59	愛媛県	1.26
新潟県	21.18	高知県	3.22
富山県	2.65	福岡県	2.64
石川県	1.13	佐賀県	1.72
福井県	0.38	長崎県	1.50
山梨県	2.51	熊本県	1.44
長野県	2.26	大分県	2.29
岐阜県	1.03	宮崎県	1.76
静岡県	2.56	鹿児島県	1.89
愛知県	3.03	沖縄県	1.35
三重県	5.81	全国	2.51